

- 浜寺石津校区老人クラブ連合会
- 浜寺校区松寿会老人クラブ連合会
- 浜寺東校区老人クラブ連合会
- 浜寺昭和校区老人クラブ連合会
- 津久野校区老人クラブ連合会
- 向丘校区老人クラブ連合会
- 平岡校区老人クラブ連合会
- 鳳校区老人クラブ連合会
- 鳳南校区老人クラブ連合会
- 福泉東校区老人クラブ連合会
- 福泉校区老人クラブ連合会



楽しく！仲良く！頑張って！ハッスルしよう！

平成30年度 第12回 西区老連ディスコン親睦大会

第12回西区老連ディスコン親睦大会が2月14日、家原大池体育館小アリーナで開催され、24チーム144名が参加しました。当日はバレンタインデーなので敗者復活戦には愛がたっぷり込められた(?)「会長特別賞」等が設けられました。勝っても負けても入賞のチャンスがたくさんあり、各コートでは拍手や声援が飛び交って活気に満ち溢れていました。決勝戦は、浜寺石津Aチームと福泉東チームが対戦。ストレートで7点を勝ち取った浜寺石津Aが底力を見せ、見事優勝に輝きました。



Congratulations

- 優勝 浜寺石津Aチーム
- 準優勝 福泉東チーム
- 第3位 浜寺昭和Cチーム

優勝チーム「喜びの声」を7頁に掲載しています!



～仲間の拍手に元気をもらおう～



生きがいを持って 長寿社会を迎えるために

堺市西区老人クラブ連合会
会長 西村 弘一



桜の花も終わり、地面を射す光は日に日にエネルギーに溢れる今、健康のため10分間多くからだを動かして、健康寿命をのばしましょう。

さて、昨年7月、厚生労働省より平成29年の平均寿命について女性87・26歳、男性81・09歳と、いずれも過去最高を更新したと発表

遠くなる「昭和」 今日一日を大切に

堺市老人クラブ連合会
会長 橋本 宜和



(健康生きがいづくりアドバイザー)

桜満開の春は夢があり、私にとって毎年の楽しみの一つです。桜で思い出すのが、学生時代の入学試験結果電報の「桜咲く」桜散る「一言一憂」したことを思い出します。昔から今も変わっていないのが、春にはいろいろな別れがあり、また新しい出会いを夢見てワクワクする季節でもあります。今年の春は日本国民にとって特別な年であり、「昭和」平成と続いた元号が、5月に新しい元号に変わるといわれています。いまあなたは、新しい元号のもとでこれを読んでおられると

されました。

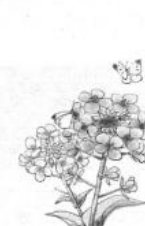
長寿社会の到来は大変喜ばしいことではありますが、日常生活の中で地域の方々と疎遠になっている高齢者が増加していることも事実でございます。こうした中、これまで取り組んできた友愛活動を進めていただき、より多くの方が心豊かに暮らしていける地域づく

りをめざしてまいりますので、会員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。平成26年度から5カ年計画で全国運動として推進してまいりました、100万人会員増強運動は、本年3月末をもって終わりましたが、会員増強には厳しい状況でありますので、一人でも勧誘していただくようお願いいたします。老人クラブは高齢者の組織であり、会員の自然減は避けることができせん。新しい会員が入会しても会員増まで至りませんが、西区の会員皆様

を書き添えました。それには「あと20年、毎日毎日が休みの連続です。7千3百日、自由時間は10万2千時間あります。この時間が長いと感じるか短いと感じるか、これからの生き方によって決まってくるものと思えます。私は今までに多くの人たちに会いました。そして色々なことを学び、議論しました。多くの人たちとよく遊び、そして一緒に感動することも沢山あります。また多くの人に助けていただきました。そうした素晴らしい人たちの出会いによって、充実した会社生活を送ることができました。本当にありがとうございました。会社人間」から会社を取れば「人間」だけが残ります。家族がいて、仲間がいて多くの

の日頃から友人、知人等とのつながりを大事にして老人クラブの行事に参加を呼びかけたり、何度も訪問して加入していただいたと聞いております。おかげでそれなりの成果がありました。ありがとうございます。

これからも高齢者はますます増えていきますが、できるだけ自分の力で暮らせる社会、困った時には高齢者同士で支え合える社会を作っていくことが必要です。



一人を一生懸命に充実させながら人生の総仕上げをしていきたいと考えています。これは18年前の挨拶状の一部です。

平成から新元号に変わろうとしている今、私は「健康生きがいづくりアドバイザー」活動のお陰で心身ともに健康で、自分の生きがい、みながら学び、少しは人さまに喜ばれ、地域社会に貢献できたかなと思っております。挨拶状に人生目標を公表し、それを目標に学び続けている自分をみて、最高の幸せを感じながら遠く離れた昭和を思う今日この頃です。

私たちは、堺市西区老人クラブ連合会の活動を応援しています

地域共生社会の 実現にむけて

西区長 中山 誠



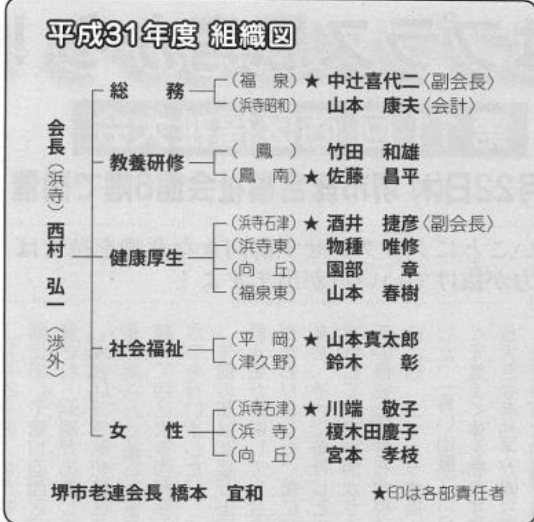
春暖の候、西区老人クラブ連合会の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は、貴連合会をはじめ、各種団体の皆様には地域の福祉向上や安全・安心社会の実現に向けて様々な活動にご尽力を賜り、厚くお礼申しあげます。

地域共生社会とは、福祉サービスの「支え手」「受け手」といった関係を超えて、地域で活動されている皆様や様々な団体が「我が事」として参画し、世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていく社会のことをいいます。この地域共生社会の実現のためには、地域での様々な課題に対する解決力の強化や生活上の困難を抱える方への包括的な支援体制、また、

多様な担い手や専門人材の育成などが必要で、このようなか、堺市は、社会福祉協議会とともに、「第4次地域福祉計画」(2020年度からの計画)の策定にむけ、現状や課題、方向性等について検討を進めています。また、地域では、貴連合会によるひとり暮らしの高齢者への声かけや子どもの見守り活動などの取り組みのほか、各種団体においても高齢者や子育て世代への支援が進められ、最近では「こども食堂」を通じて子ども達の居場所づくりなど、地域の実情にこころを、大変な難心強感を感じております。

皆様方には、誰もが生き生きと暮らせる地域づくりに向けて、引き続きご協力をお願い申しあげます。結びにあたり、貴連合会の益々のご健勝、ご多幸を折念にいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



平成30年度 西区老連囲碁将棋大会

- 11月12日(月)、西老人福祉センターにて西区老連囲碁・将棋大会が開催され、囲碁の部に21名、将棋の部に16名、総勢37名が参加し、日ごろ鍛えた棋力を競い合いました。
- 囲碁は3クラス、将棋は2クラスに分かれリーグ戦を行い、勝ち星の数で順位を決定。1月18日開催の市老連新春囲碁・将棋大会の予選も兼ねているとあって、熱のこもった戦いが繰り広げられました。大会結果は次の通りです。
- ◆大会結果(敬称略)
- 【囲碁の部】
(有段者上位)
優勝 小谷 修 (浜寺昭和)
準優勝 阪口 一美 (福泉)
第3位 東使 稔 (浜寺)
(有段者)
優勝 玉村公市郎 (向丘)
準優勝 橋本 要 (浜寺昭和)
第3位 鈴木 誘 (鳳南)
- 【将棋の部】
(級位者)
優勝 坂口 武 (浜寺石津)
準優勝 小林 健嗣 (家原寺)
第3位 前田 進 (浜寺)
(有段者)
優勝 赤尾 吉徳 (浜寺東)
準優勝 林 正蔵 (浜寺)
第3位 益田 高明 (福泉)
(級位者)
優勝 高木 安彦 (福泉)
準優勝 三浦 皓平 (浜寺東)
第3位 大宮 正雄 (浜寺東)
- 各クラス優勝のみなさん
写真左から、赤尾吉徳さん(将棋有段者)・小谷修さん(囲碁有段者上位)・高木安彦さん(将棋級位者)

私たちは、堺市西区老人クラブ連合会の活動を応援しています



『いい声』はプラス思考から！

第11回 西区福祉大会

11月22日(木) 堺市総合福祉会館6階で開催

細かいことにクヨクヨせず前向きな意識を持てば肩の力が抜けていい声が出ますよ！



最後はお楽しみ抽選会でもうひと盛り上がりし、今年の福祉大会も大盛況のうちに幕を閉じました。

11月22日(木) 堺市総合福祉会館6階において第11回西区福祉大会が開催され、84組が出演しました。大会は浜寺昭和校区の山本康夫会長の高らかな開会宣言でスタート。続いて西区老連西村弘一会長がいさづを行いました。午前の部は30組が出演、始めに役員4名が熟唱して大会のオープニングを彩りました。後に続く出演者たちも、それに負けじと自慢ののどを披露して会場を沸かせます。午前の部の最後は浜寺石津校区女性部7名による「コッカラ体操」が行われました。「言い山脈」に合わせて明るく元気よく体を動かす姿に、客席から大きな手拍子が鳴り響きました。午後の部は54組が出演。後半に入っても会場の熱気は冷めることなく、「待つてました」「いいぞ」などの声援が飛び交い、出演者と観客が一体となって終始大会を盛り上げました。



私たちは、堺市西区老人クラブ連合会の活動を応援しています



トリは浜寺昭和校区の田中義明さん92歳!

大会のトリを飾った
浜寺昭和校区の田中義
明さん。92歳の誕生日を
迎えるの大会出場とあって、観
客から「おめでとございませう」と
祝福の音が送られました。この日は
黒を基調にした着物をお召しにな
り、凛とした立ち姿で力強く「じょ
んがらよされ節」をフルコーラス
熱唱。拍手と歓声に応えるように
手を振り、華やかに舞台の挿尾を
飾ってくれました。



私たちは、堺市西区老人クラブ連合会の活動を応援しています

平成 30 年度 西区老連交流活動事業実施報告

月	日	事業内容	開催場所	参加人数
4	10	第1回 校区長・女性部三役合同会議	西区福祉センター	15
	16	春季グラウンド・ゴルフ大会実行委員会	西区福祉センター	27
	19	春季ゲートボール大会実行委員会	西区福祉センター	18
	27	春季ディスコン大会実行委員会	西区福祉センター	26
5	14	女性部代表者会議	西区福祉センター	38
	15	春季グラウンド・ゴルフ大会	浜寺元町グラウンド	180
	25	春季ディスコン大会	家原大池体育館	120
	27	春季ゲートボール大会	浜寺石津グラウンド	75
6	11	第2回 校区長・女性部三役合同会議	西区福祉センター	15
7	25-28	西区老連高齢者作品展	西区役所	
	31	女性部代表者会議	西区福祉センター	38
8	8	第3回 校区長・女性部三役合同会議	西区福祉センター	15
	9	第4回 校区長・女性部三役合同会議	西区福祉センター	15
10	20	秋季ゲートボール大会	浜寺石津グラウンド	50
	22	秋季グラウンド・ゴルフ大会実行委員会	西区福祉センター	26
	24	女性部日帰り研修旅行		38
11	6	日帰り研修旅行		78
	12	囲碁・将棋大会	西区福祉センター	37
	14	秋季グラウンド・ゴルフ大会	浜寺公園第2球技広場	128
12	22	高齢者福祉大会	市福祉会館	200
	29	女性部代表者会議	西区福祉センター	38
	12	第5回 校区長・女性部三役合同会議	西区福祉センター	15
31年	18	西区老連健康セミナー(講師:ヤクルト堺)	西区セミナールーム	80
	18	ディスコン大会実行委員会	西区福祉センター	25
	1	新年互礼会	仕出しのためぎ	17
2	13	第6回 校区長・女性部三役合同会議	西区福祉センター	15
	14	ディスコン親睦大会	家原大池体育館	95
3	19	女性部代表者会議	西区福祉センター	40
	2	女性部代表者会議	西区福祉センター	35
3	13	西区老連お疲れ様会	西区福祉センター	35
	19-20	校区長・女性部三役一泊研修旅行	信貴山方面	13

12月13日(木)

西区老連健康セミナー

西区老連健康セミナーを西区ウェスティセミナールームにて87名参加のもと開催されました。

西村会長の挨拶の後、堺ヤクルト販売 株 丸山博資氏を講師に迎え、「かぜの科学～健康で年を重ねるために～」の講義をスライドを見ながら受講しました。

屋内掲示について

浜寺4校区ディスコン親睦大会

3月21日(日)午後から、家原大池体育館にて浜寺4校区ディスコン親睦大会が開催されました。6人制8チームが参加して熱戦を繰り広げました。

大会結果

- 優勝 浜寺昭和 A
- 準優勝 浜寺石津 B
- 3位 浜寺石津 A

3月19日(火)～20日(水) 校区長・女性部三役一泊研修旅行

西区老連校区長・女性部三役一泊研修旅行を開催し、13名で信貴山方面に行きました。大和平野の素晴らしい眺望を楽しみながら散策し、自然と歴史をたっぷり満喫しました。

私たちは、堺市西区老人クラブ連合会の活動を応援しています

**DISCON
優勝
喜びの声
浜寺石津Aチーム**

手嶋喜代子

2月14日(日)のバレンタインデーに第12回西区老連デイスコン競技大会が家原大池体育館大アリーナで開催されました(川端敬子女性部長の司会により開会

式が行われました。入賞以外にも、ほほえみ賞や頑張ったで賞等もあるとのこと。「優勝は無理でも何か賞を頂ければいいなあ」と思っていました。試合が始まり、チームメートの声援を受け、気がつくとも3勝していました。「これはもしかして優勝できるかも」と期待しつつ、



4戦目に挑みまし
た。そうすると、何と
いうことでしょうか。
試合時間を残してワ
点先取っていたので
す。山下チーム長か
らの「試合終了」の申し出
により試合は終わり、浜寺
石津Aチームの優勝となり
ました。記念撮影があり、
「優勝」という偉業を成し遂
げた喜びに笑顔あふれる輝
かしい写真となりました。

今回上位入賞した事で、
市老連の大会に代表として
競技に参加できるとのお話
でしたので、これからも
「チームワーク」を大切に
して練習に励みたいと考
えています。
私たちにデイスコン競技
の指導をして下さっている
藤村コーチ、横田監督に
感謝申し上げます。これか
らも選手一同頑張ります
ので、よろしくお願いたし
ます。



びわ湖大津館 BIWAKO OTSUKAN



**西区老連女性部
日帰り研修旅行**

浜寺校区 榎木田慶子



私は堺市西区老連女性部に参加させていただくようになりまして、1年がたちました。役員の方々と共に楽しく活動させていた
だいております。
昨年の10月24日に西
区老連女性部研修会
でびわ湖方面へ行
かせていただき
ました。やはり、
日本一の湖です
ね。大きかった
です。湖のそば
にあるびわ湖太
津館の館内を
皆さんと見て
回りました。
皇族方もお泊
まりになられた
そうです。品格を
感じたのはその
せいでしょうか。
いろいろな花

びわ湖方面を満喫

吸って帰りました。他の地域の方々と行き帰りのバスの中などで少しは交流ができて、良かったと思っています。ありがとうございました。これからも地域の活動に微力ながら頑張っていきたいと思います。

が咲いているイングリッシュユガーデンでの散策、めずらしい花々もたくさん咲いていて、ほんとうに綺麗でした。
また、クラブハリエのお店で大きな長いバームクーヘンを目の前で焼いている所を見ました。初めてでしたので、興味深かったです。楽しい時間はあっという間に過ぎていきま
すね。びわ湖周辺のきれいな空気をたくさん吸って帰りました。



第9回浜寺松寿会文化祭

11月3日、第9回浜寺松寿会文化祭が、今回も浜寺小学校体育館で開催されました。
今回の文化祭は来賓によるカラオケでスタートし、西村会長はじめ8名が美声を披露。続いて地元で活躍

する浜寺M-1隊のよさこい踊りや社交ダンス、フラダンスなど見ごたえのある美しい演目が次々に登場し、会場に大きな拍手が鳴り響きました。その後3日体操やハーモニカ演奏、新舞踊、カラオケと続き、トリは「諏訪の森音頭」を輪になって踊り、見事なフィナーレを飾りました。
全ての演目が終わると、最後は恒例のお楽しみ抽選会。会場を埋め尽くした観客は当選番号の発表に一喜一憂し、文化祭は大盛況のうちに幕を閉じました。



華やかにぎやかに

私たちは、堺市西区老人クラブ連合会の活動を応援しています

東方三社初詣

平岡校区
元会長 埴 晃

今や東方三社詣りは、老人会の年中行事となつていますが、東方詣りの歴史は江戸時代後半から盛んになつたよつである。ただ、何故三社になつたのかは判然としない。

さて、我が平岡校区老人会は1月10日、今年の東方東北東に位置する近江国に存在する神社への三社初詣に出発した。

最初に参詣したのは、御上神社で、近江における古来からの名社で、第七代孝靈天皇の創祀との伝承もあり、旧官幣中社、古くは三上大明神とも言い、近江富士の西麓野洲川に臨んで位置し、本殿は入母屋造の古



東方三社初詣のメンバーが御上神社で集合写真を撮影している様子。



三上神社、加茂神社、日牟禮神社

来からの神社建築の代表例で、鎌倉時代のものながら国宝となっている。この本殿の前で集合写真を撮り、次に参詣する賀茂神社に向かった。

賀茂神社に到着すると、まず宮司さんから、この神社の由来について丁寧な説明があり、この社は、聖武天皇に命じられて、陰陽道を修めた古備真備が森羅万象の「気」を集まる日本の

平岡校区老人クラブ 新春を寿ぐ吟詠

例年、平岡校区老人クラブでは、由緒ある神社への新春三社初詣を計画しています。その年は何が良いことがあるのではないかと思いながら充実した東方詣りをするためには、日頃から慶事についてもそれなりの準備が必要と考えています。準備は結果たとの心構えで取り組めます。それは食事処で乾杯の前に「新春を寿ぐ」ことで、会員の皆さまと共に祝意を表す「吟詠」を必ずいたします。我々の単位クラブの親和会会長・鞍野謙氏にお願いしていただきます。

東風吹かば、匂いおこせよ、梅の花、主無しとて、春を忘るな

読み(ひらがな)
こらふかば、においおこせよ、うめのはな、あるじなしとて、はるをわするな

【意味】
春の東風が吹くようになったら、花を咲かせて香りを届けおくれ、梅の花よ、私(貴公)がいなくても、春を忘れないでいておくれ。

【解説】
この短歌は、菅原道真(すがわらみちまね)がうたった有名な歌です。彼は、もともと低い身分でしたが、学問に優れていたため、右大臣にまで出世しました。当時の左大臣の藤

のにも不思議な現象である。この神社の「気」を感じながら、次の日牟禮八幡宮へと向かった。

日牟禮八幡宮は、伝承によれば第三代成務天皇が武内宿禰に命じてこの地に大神を祀つたとあるが、式内社では無いので、創始は11世紀以後ではないか。しかし、地元の信仰もあり、伝承を尊重したい。当初、鶴賀山上にあったが、

原時平からねたまれ、あらぬ罪で、太宰府に左遷せられました。その時に、梅が大好きだった菅公が京都の紅梅殿の梅に向けて詠んだ歌のようです。現在も太宰府の天満宮には、梅があり、飛梅伝説として残っているようです。「春を忘るな」は、「春を忘れず」という記述の方が多いようです。

◆
●心だに誠の道にかなひなば 祈らすとも 神や守らん(人は、心さえ誠の道にそつていれば、あらためて祈りを捧げなくても、神がきつと守つてくれるだろう)。

●未たかつて邪は正に勝たず(邪まなことはどんなことがあつても、結局正義には勝てないのである)。

●全ては運命の巡りあわせなのだから、不遇を嘆いて隠者のように閉じこもり、春の到来にも気がつかぬよう

天正13年、豊臣秀次が八幡城築城の時、現在の地に移転したので、神社にある磐田別尊(心神天皇)・母息長足媛尊(神功皇后)等の木造の座像神体は、国指定の重文となっている。此の神社の草創は、これ等の天皇と関係があるのかも知れない。

帰路、バスの中でつくつく考えるに、日本の神道を体現する神社は、仏寺と共に

な生き方はすべきではない。 ●紀長谷雄にたいし、世間では偉そつにべらへら喋る大学者さまが我が物顔で通るたびに有難がられては、君が口を閉ざしても君の詩興が衰えることはないから心配するな、と励ましの詩をおくっている。

●香は神心よりして火を用ゑることなし 花は合掌に開けて春に因らず(香りは、わざわざ火を用いて焚くものではなく、清らかな心の中に薫るもの。同じように、花は春が来るからつぼみが開くのではなく、正しい心で合掌するその手の中に花は咲くもの)。

●左遷のおり道真は嫡子を哀れみ「日月は天地の父母なり、梅は寒苦を経て清香を発し、松は千年を経て尚志節道義を失わず」と論じたといふ。



に、風雪に耐えながら歴史・文化の担い手となつて今日まで存続してきたことを思えば、鳥居をくへり柏手を打つと心の底に眠っていた日本の魂が覚醒される思いがする。東方三社初詣は物見遊山の面もあるものの、年のはじめに心を新たにす有意義な行事でもあるので、老人会の行事として、今後とも絶えることなく続けることを願いたい。

私たちは、堺市西区老人クラブ連合会の活動を応援しています

投稿欄

チコちゃんに叱らわそう

浜寺東校区 岸 千紗子

前兆はあった。道端で向かってくる友人の名前を必死に思い出そうとしたが、浮かんでこなかった。「まあイヤね。この私の名前忘れたの」と言われてしまった。とにかく記憶力が衰えた。いままがたの出来事が正確に思い出せない。長電話しているとき最初に聞いたことを忘れてしまう。バスツアーで途中の見学の後の出発時刻が覚えられない。「えっ2時10分だった？30分だった？」てな具合で、アホとしか言いようがない。なあと自分で自分に突っ込みたくなるほどだ。

先日のこと。家の鍵の束がいつもの引き出しになに。あわてて2、3日前の記憶をたどって、あのポケット、このカバン、いや無意識のうちにチヨイッと棚の上に置いたりすることもある。も再々なので入れるはずのない引き出しでも、片っ端から開け、ひよっとしてあそこ？ここの？頭がとりとめもななく働いて、近くの道までも探しまわった。もう訳が分からない。大バニック！家を留守にするときは、幸いにして長年使っていない裏口の鍵があるのに気が付いて、まずは

少し落ち着き、要るものやら探さないものを整理しながら探すことにした。そんな中で道で落ちたというのともななきにしもあらずなので、4カ所の錠前を新しく付けかえなくてはと気になリだした。一日中探しても鍵は出てこなかった。

翌日は予約していた用事があったので裏口から出て行った。その日は小雨模様で雨傘を持って出た。3時すぎに帰宅し、雨が止んでいたのを傘を広げて干した。夕方取り込んで下駄箱の傘立てに入れたとき、別の傘に当たってチャリッと音がした。えっ、ひよっとして？まさかこんな所に？なんと鍵はその傘の内側に落ちていた！紛失の前日に近所まで出かけて戻り、傘を仕舞ったときに手に持っていた鍵がすべり落ちて傘の内側に入ってしまったというのだ。耳が遠くなっていたのかともあるが、その時は何か他の事に気が取られていたのか、全く気が付かなかった。なんて事だ！でもまあ良かった！神様ありがとございませう！これから気を付けます。やれやれ…。ホーツと生きていたらダメですね。

こんな目にあうのは二度とこめんだと思い、早速鍵束に大きい目の鈴を付けることにした。早朝ウォーキングでショルダーバッグに入れた鈴が歩を進めるたび心地よく鳴り、「ワタシがしつかり鍵を守るからね」と言ってくれているようで、安心して歩けることが何より嬉しい。



栗原心愛ちゃん事件に思う

浜寺昭和校区 平山 芳弘

父親の度重なる暴力を受け助けを求めたのに叶えられず亡くなった。心愛ちゃん事件は、1月から2月のTVや新聞で繰り返し報道されました。

大方は、児童相談所や教育委員会側の対応を指摘しているが、もちろん、専門職員の養成、児童相談所職員の専門職員化(異動なし)、さらに、担当職員を増強等早急に対策を講ずる必要がある。

しかし、このよつな問題に取り組む視点に問題があるのではないかと。

DV(Domestic Violence)

100歳まで

ドライバー

浜寺石津校区 手嶋喜代子



運転免許証を取得して、48年経ちました。当時、教習所に行く女性は今人数でした。免許が欲しかった理由は、郊外にマイホームを購入し、駅から自宅まではバスでの帰宅になるので、とお願い、主人を駅まで送迎してあげたいとの気持ちからでした。

現住居は、駅まで徒歩で

行け、私の出番はなく、ドライブや魚釣り、買い物で車を利用することになりました。

人生100年と言われる時代、私も100歳までドライバーでいたいと、体力作りとしてグラウンドゴルフとテニスコン、認知症予防には健康麻雀、習字、俳句を詠み、図書館通いもし、公民館のいきいきサロンなど老人会や地域の皆様のお世話になり、日々を過ごしています。

近年サポートカーも発売され、これからは機能も充実していくことでしょう。私の夢100歳までドライバーの思いが叶うことを願っています。

(お詫びと訂正)

平成30年10月発行の第60号で誤りがありました。

◇10頁「夏の夜の一時」4段3行目が「分踊り大会」になっておりましたが、正しくは「盆踊り大会」でした。執筆者である松田都子様をおかけいたしましたご迷惑をおかけいたしましたことに対し深くお詫び申し上げますとともに、ここに訂正をさせていただきます。

投稿欄



大鳥大社の由緒と今年の節分祭

鳳老人連合会 会長 日谷 暢宏

大鳥大社の起源は、日本武尊と大鳥連祖神の二柱で、延喜式名神大社として和泉国一ノ宮であります。日本武尊は景行天皇の皇子にて勅を奉じ熊襲並びに東国を平定、帰途、伊吹山の賊を平けた時、病を得

て伊勢国能褒野に薨じ、御屍は白鳥と化し、御陵を出て大和国琴引原、次に河内国古市にとび、最後に此の地・大鳥郡千種の森に留まり坐したので社を創建し、此が当社の起源と伝えられています。聖武天皇の御世に僧行基が勸願により神宮寺として勸学院神鳳寺を建立したが、明治の神仏分離により廢寺となり明治4年3月官幣大社に列格。社殿は大鳥造と称し神社建築史上貴重な様式を今に伝えている。大鳥大社は五社明神と呼ん

で大鳥北浜神社、大鳥美波比神社、大鳥井瀬神社、大鳥羽衣浜神社と千種の森、大鳥大社本殿の五社をお祀りしている。境内には平清盛の歌碑があり、清盛、重盛、父子が平治元年(1159年)熊野参詣の途中、都に兵乱が起きたとの急報により帰途、当社に参拝し「かひこぞよかへりはてなば飛びかけりはぐくみたてよ大



鳥の神」と歌を詠み、神馬一頭を寄進している。のちに当社宮司、富岡鉄斎の筆による歌碑が建てられている。(2)今年の節分祭 今年(平成)の御世が終わり、新しい年

号に変わる年であります。そんな節目の年、大鳥大社の節分祭に私は八十年の年男として豆撒き神事のお役を拝命しました。上下姿に衣服を正し拝礼殿での節分祭神事にて玉串を奉じての参拝の後、紅白幕を設えた豆撒台より境内いっぱいにご参詣の皆様にごぞ「お福が行き渡りますように」と願いを込めて、お福分けの豆撒きをさせていただきました。私自身も、また地域の皆様方すべての方々の今年一年、まめで無事息災でありますようにと願わせていたいたいたこの節分祭でした。

平岡校区 正月用の花の寄せ植え講習会

春の花寄せ植え講習会 5月29日 41名参加



平岡校区老人クラブ連合会女性部が、会員の教養の向上に寄与する目的をもって立ち上げた「春の花・正月用の花」の寄せ植え講習会。平成30年度は、春は5月29日、正月用は12月20日でした。講師の中辻ノ



正月用花の寄せ植え講習会 12月20日 60名参加



ブ子先生をお迎えした正月用の花の講習会には60名が参加し、花を愛する女性会員には大好評でした。会場に集まっていたいた會員の皆さんが、講師のお話を聞きながらいろいろなことに興味を持ち

知識を深め、交流を図り、心を極めてゆく。老人クラブ活動補助金を交付されたこのような活動をとおして、教養を豊かにし、生活に潤いを与え、皆さんの、心に花を咲かせることを目指しています。

浜寺石津校区 女性部6人が魔女に変身!!

浜寺石津校区女性部 阿部 正子



平成30年10月24日、平成最後の西区老連女性部研修会に参加しました。「びわ湖大津館・イングリッシュガーデン」見学と「ラコリーナ近江八幡」の見学です。びわ湖に面した素敵な庭園です。バラの花が見

頃でした。ちなみに世の中はハロウィンの真っ最中。私たち浜寺石津校区の女性部6人は、魔女に変身!! なかなかお似合いですか?? 昼食は日本庭園を望む料亭で、和気あいあい、和やかに食事を楽しみました。旧琵琶湖ホテルは、皇族の方や多分野の著名人をお迎えした格式の高いホテルらしく、素晴らしいものでした。帰阪の楽しみはお買い物。ラコリーナでは、長〜い行列を並んで「バームクーヘン」を購入しました。晴天に恵まれた楽しい研修会でした。

私たちは、堺市西区老人クラブ連合会の活動を応援しています

芸文員会

俳句

輝しぐれ泣き止まぬ子と就演し
朝顔のツルのびのびと天を笑く
緑側の猫と語りし月見かな
玉入れや青き空には星条旗
花吹雪二人の姿包みおり
浜寺石津校区 手嶋喜代子

数珠のごと亀一列に水温む
向丘校区 齋藤 高生

亡妹を思ふや雛の匂を詠めず
向丘校区 高田 直昭

立つ鳥はすべて立たせて水温む
向丘校区 渡部 唯子

ひなまつり頬を緩めし老夫婦
向丘校区 高橋 寿美

雛納め嫁ぐ娘の指か細けり
向丘校区 森川 友美

水仙の風にゆれ揺れ春を運ぶ
向丘校区 竹澤 信子

関白落日

浜寺石津校区 橋本 光弘

夫唱婦随と恰好つけ
時代遅れの無精者
近所のご亭主見習えと
女房の一喝是非も無し
やれば出来ると思気込むも
思うに任せぬ手、足、腰
寄る年波の程を知り
女房殿の下知のもと
為さねば成らぬ為せば成る

株分や講釈爺のいきいきと

向丘校区 西 覚子

おそこの日圓児の声に水温む

向丘校区 横山 芳子

桃活けて昨日と過ぎし誕生日

浜寺校区 小孫 和子

短歌

春が来て別れの時が少しずつ

浜寺昭校区 永井 智子

とし老ひて同窓会が集ふなり

浜寺昭校区 辻 光

川柳

同窓会フォークダンスで若返り

阿ナログ派進化した機器使えずに

暑い寒い四季がないのか日本にも

縁起台風の恐ろしかりにけり

受けた恩感謝の心忘れず

浜寺石津校区 矢上富美子

ゲートボール チーム誕生

浜寺石津チーム 坂口 嘉治



コレ、50年前の事だス。
石津の町にレクリエーション委員
会と云う名の会があり、中年の男10
人が籍を置き、代表者はOサン。す
る事と云えば夏は盆踊り。冬は石津
太神社のヤッサイホッサイの祭り。
又、健康のタメ、近くの金剛山登
り体を鍛え、偶には持ち寄りの飲食
会を催し楽しんだ。この時にOサ

両チーム赤白に整列

機嫌とる犬に世渡り教えられ
金婚や糟糠の妻堂々と
補聴器で聞こえ過ぎても苦勞あり

浜寺石津校区 手嶋喜代子

日に三度不足言うたら気が晴れる

浜寺東校区 物種 唯修

訓練だ放水の顔笑つてる

浜寺東校区 岸 千紗子

生きているには小さな世辞も大切に

浜寺昭校区 谷 友江

万博で長寿目標五年伸び

浜寺昭校区 平山 芳泉

年の瀬をお世辞で使う旦那様

浜寺昭校区 松井 路

ンが堺市役所から買った
た書類を見せ、話した。
それによると、これか
らは長寿時代、高齢者
が馴染めるスポーツは、
コレだ、とゲートボ
ルなるものを勧めた。

早速Oサンの人集め。アッチコッ
チに声を掛け、10人余り、これに私
も加わった。

コレなら二チームが出来
石津小学校の校庭を借り
馴れぬ手付でコート造り
イヨイヨゲームが出来
両チーム赤白に整列

新郎が聞いて赤面する祝辞

浜寺昭校区 松永 庄三

わからないまま飛ばし読むカタカ
ナ語

浜寺昭校区 橋本セイ子

初詣でマスクの奥の声届け

浜寺昭校区 高橋 司

お世辞だどわかっていてもいい気分

浜寺昭校区 山中 綾容

お若いね世辞が励みの冬散歩

浜寺昭校区 田邊 静子

暖かい川面に亀の甲羅干し

向丘校区 小谷 武子

デイの人カラオケ唄って恋してる

浜寺校区 西本恵美子

畦に咲く水仙みんなおじぎして

浜寺校区 中谷 良江

与えられた球を持つ
審判の手が拳がる
プレイボール
自分の番号を呼ばれ位置に着く
構えて第一ゲートを目差す
打つモーション
打った!

コレが私達のゲートボールの出合
いデシタ。
タタ一生懸命育て愛したゲート
ボール。強くなったチームを見る事
もななくなくなった
故小田忠一様に
哀悼と感謝の気持ち
チーム共々捧げます

私達は、堺市西区老人クラブ連合会の活動を応援しています



秋季は浜寺公園を会場に 134 名がはつらつプレー

平成 30 年度 西区老連

秋季グラウンド・ゴルフ大会



した。

11月14日、秋季グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。参加した134名は、上位入賞を目指して8ホール3ラウンドを元気にいっぱいプレーしました。

今回の舞台はいつもと異なる浜寺公園第2球技広場。しっかりと整備された砂地の競技場でボールの転がりも良好です。開会式で西村会長は、「今日はグラウンドが悪いとは言えませんが、みなさん健闘してください」とあいさつを述べ笑いを誘いました。

ロングホールでのホールインワンも多く見られ、「入った！」とガッツポーズで喜ぶ姿にギャラリーは「ナイスショット！」と拍手を送りました。

ときおり冷たい風が吹き込むこともありましたが、皆さんの、まさに、寒さも吹き飛ばす、熱気あふれるプレーで、大会は終始盛り上がりま



Congratulations



優勝 田所 清治 (鳳)
準優勝 藤田今朝子 (浜寺)
第 3 位 中西 貢 (鳳)

※ 敬称略



◆ご協賛各位への御礼

本紙の発行にあたりご協力いただいたご協賛各位に厚く御礼申し上げます。今後も本紙は会員の生きがい・健康・教養を高める一助になるよう内容の充実に努めますので、末長いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

〒547-0026
大阪市平野区喜連西4-6-69
(株)博報社『西区老連すこやか老友』編集係
☎06-6797-0381
FAX06-6797-0481

◆【投稿先】

左記の宛先まで、もしくは各校区の校区長を通してお送りください。

◆編集後記
今号もたくさんのご投稿をいただきありがとうございました。編集の都合上、省略・訂正させていただいた原稿もごさいます。ご了承くださいます。

◆原稿募集
本紙では会員皆さまからの投稿を募集しています。クラブ活動報告の他、随想、紀行文、体験談、文芸作品(俳句・短歌・川柳)などお気軽にご投稿ください。また、写真などの資料があれば同封ください。

次号発行は10月のため、原稿締め切りは9月10日といたします。原稿には、お名前、電話番号、堺市西区〇〇校区と必ず明記してください。

私たちは、堺市西区老人クラブ連合会の活動を応援しています